

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名: やさしいっばい天神

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		時間帯や活動項目に応じて、多目的に部屋を活用しています。	一日平均10人前後のご利用で、学習室、指導訓練室、バルコニーと分かれており、十分なスペースが確保できています。
	2	職員の配置数は適切である	5	1	利用児2.5人に対して職員を一人配置しています。	ご利用人数に対する人員基準に対して追加で人数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	ほとんどの箇所はバリアフリーになっています。	玄関口の狭さやバルコニーへの出入り口部分はバリアフリー化を検討中。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	毎日の朝礼、パート職員も含めた月に一度の職員会議で業務改善を行っています。	職員によるカンファレンス記録をもとに現状を把握し、振り返りにも利用しています。個別支援計画書において新しく目標を設定し、広く職員に告知しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		年に一度、保護者向けのアンケート調査は行っています。	毎年、保護者様向けの評価表を配布して、そのアンケート調査の結果を業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	ホームページで公開しています。	毎年、自己評価の結果をHPIにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	保護者からの評価結果は業務改善に繋げています。	評価していただける第三者機関を検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		研修計画に従い内部研修を実施しています。	発達センター主催の研修等の他に、毎月リモートでの研修を受講しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	最初に標準化されたアセスメントシートを使用してアセスメントを行い、その後保護者面談を通して客観的に課題を分析しています。	契約時にアセスメントシートへの記入をお願いし、その後担当者会議で相談員、保護者を交えて話し合い、個別支援計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		ご利用始めの時に標準化されたアセスメントツールを使用しています。	細かく標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		月々の活動プログラムは職員会議を通してチームで立案を行っています。	毎月職員会議を行い、翌月の活動プログラムの立案を職員全員で考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		活動が毎年同じにならないように、子ども達のニーズに合わせて情報を入手しています。	固定化されたプログラム(お誕生日会やお買い物体験等)以外は固定化しないように、季節の行事や工作など様々なプログラムを立案しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	職員会議で平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めてきめ細かく話し合いを持って設定しています。	平日は短いプログラム、休日・長期休暇は一日を通した活動を考えています。また、支援時間や季節によって課題が変わるので、ホワイトボードに書いて視覚化しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	毎日の活動は個別活動と集団活動を設けて、時間を分けて計画を作成しています。	ホワイトボードに毎日の活動スケジュールを書いて個別活動や集団活動がわかるようにしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	朝礼でその日の活動スケジュールについて細かく時間の配分、役割分担等確認をしています。	支援開始前に朝礼という形で立案した活動プログラムの内容や、支援内容、送迎、職員の役割分担について確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	利用児が帰宅した後に記録をつけて振り返りを行っています。気付いた点があればその場や朝礼で話し合い、職員間で共有しています。	気づいた点や共有すべきことは送迎後や翌朝の朝礼にて振り返りを行っています。問題が起こったときはその後の経過報告もしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	一日の終わりに一人、一人記録をつけて、支援の検証、改善につなげるようにしています。	毎日一人ひとりの支援記録をとって、業務日誌もつけるなど、支援の検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年ごとに職員、保護者間でモニタリングを行って、計画の見直しに役立っています。	半年に一回はモニタリングを行い、出来なかったことが出来るようになったり、新たな課題があったときは必要に応じて見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6		ガイドラインに沿った事業実施を基本の考え方にして支援をしています。	ガイドラインに沿って創作活動や季節の行事を取り入れたり、自然に触れる外出イベントも行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	担当者会議は、事前にその子に精通した職員との話し合いを終えた児童発達支援管理責任者が参画しています。	児童発達支援管理責任者と必要に応じて支援に当たっている職員が会議に参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		担任教師から情報を頂いたり、週末に時間割を確認したりして情報を共有しています。連絡調整は送迎時、電話、メール等で行っています。	学校へのお迎えの際に互いに情報共有をしています。学校の年間行事・行事予定・下校時間の確認はお便り、時間割りで確認しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	医療的ケア児は現在受け入れていません。	現在は医療的ケアが必要な児がいないですが、受け入れる場合は適宜対応します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	就学前の情報は資料や保護者から情報、電話連絡等で相互理解に努めています。	ご利用の前に保護者様や相談員を通じて資料やサポートブックや医療機関での検査結果等の書類を頂いた場合は支援の参考にはしていますが、積極的に連絡は取り合っていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	該当事例はありません。	学校を卒業し、障害福祉サービス事業所へ移行された利用者様はまだいませんが、卒業者があれば相談支援事業所を通じて情報を提供したいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			あいろん等で研修を受けるときに様々な事業所の方や発達障がい者支援センターの方と意見交換をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3		地域の公園や外出時に障がいのない子どもと接する機会がありますが、特に交流の機会を企画しているわけではありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4		交流会へときどき参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時、保護者面談、担当者会議を通じて共通理解を持つようにしています。	担当者会議等の面談時、送迎時、SNS等にて利用者様の情報を共有し、共通理解を得ています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	保護者面談時にペアレント・トレーニングに通じる助言は行っています。	保護者面談の際やご相談の際には必要に応じてペアレント・トレーニングに通じる助言をしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約の面談時に説明を行っています。	契約時に契約書に基づいて説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	保護者との面談を定期的に行い相談に必要の助言と支援を行っています。	ご相談に応じて事業所で行っている支援についてお伝えしたり、今後の支援について話し合いをしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	父母の会は行っていません。	コロナ禍ということもあり、今年度は実施できていませんが来年度は実施できるよう検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	苦情の原因、事情を当事者からよく聞いた上で上司に相談すると同時に保護者からのご意見もよく聞いて苦情に対応しています。	苦情受付担当者を設け、どこへ連絡をすれば良いか事業所の入り口に掲示しています。苦情があった際は迅速に対応策を考え、再発防止に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		行事予定表、やさしいっばい天神通信を月で発行をして情報発信をしています。	定期的に写真付きの会報をお配りしています。その中で活動の概要や行事予定もお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報は注意して取り扱い、不要になった書類等はシュレッダーを使用しています。	取り扱いについては厳重に注意をしています。取り扱う際は二重チェックを行うなどの対応策をスタッフに周知しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		毎回連絡帳を記入し、その日の様子等を保護者と情報交換を行っています。	利用児については発達状況に応じて絵カードを使ったり選択肢を提示することにより意思の疎通を図っています。また、保護者様に応じて電話やLine等を通じて情報の伝達を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	地域住民を行事には招待していませんが、近隣の人々への挨拶は欠かさないようにしています。	事業所がマンション内にあり、地域住民を招待するにはスペースの点で制限があります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	各マニュアルは策定して配布しています。	保護者様には契約時に説明を行っています。また、今後是对応マニュアルを新しくする予定なので、改めて職員や保護者様に周知していこうと検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に地震、火災等の訓練は行っています。また防災センターへも足を運んで知識を積んでいます。	定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行い、防災施設で説明を受けています。また、その様子は会報を通じて保護者様にお伝えしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	全体の会議で虐待防止の研修会は行われています。	定期的に社内の事業所と合同で虐待防止の研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	契約時に身体拘束についての説明は行っています。	契約時に「やむを得ず身体拘束を行う場合」についての説明を行い、同意書を記入していただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	食物アレルギーはアセスメント時に尋ねて医師の指示があればそれに従って対応しています。	契約時に食物アレルギーについて確認をしています。アレルギーがある場合は医師の指示書にしたがって対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	日々の活動中のヒヤリハットは文書にしたり、ミーティング時に事例検討を行い共有しています。	必要に応じてヒヤリハットを作成して再発防止につなげています。